

2025 年度 ネバーランド居宅介護支援事業所 事業報告書

1. 事業所の概要

事業の種類 指定居宅介護支援事業
指定介護予防支援事業
対象者 要支援1～要介護5の方
実施地域 姫路市（家島町を除く）、福崎町、加西市、市川町
営業日 土・日・祝祭日及び12月30日～1月3日以外
営業時間 午前9時～午後6時

2. 職員配置 管理者兼主任介護支援専門員 1名 介護支援専門員 2名

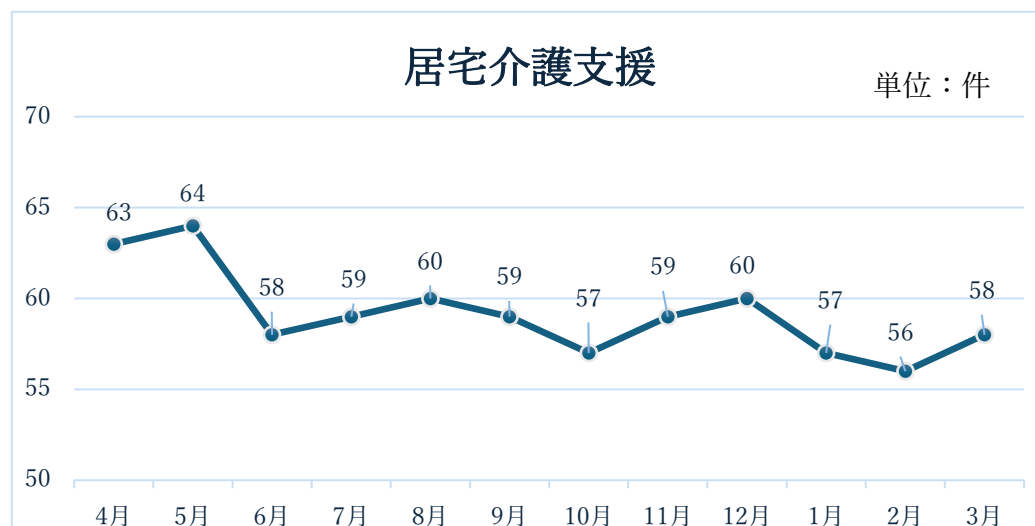
3. 事業実績

・居宅介護支援 ※月平均59件

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	63	64	58	59	60	59

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	57	59	60	57	56	58	710



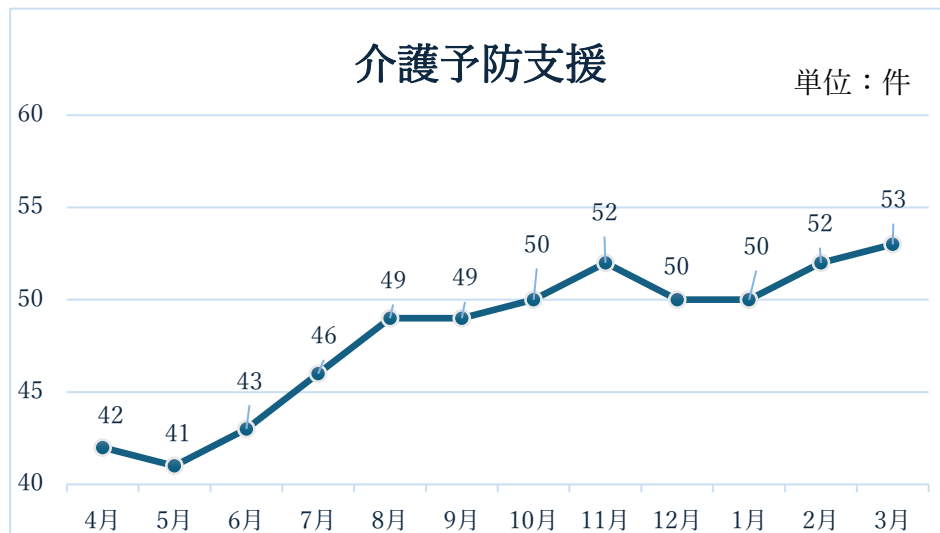
昨年と比べると、72件減少しているが、年間通して、大幅な増減は無く、ほぼ横ばいである

・介護予防支援 ※月平均４８件

単位：件

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
件数	４２	４１	４３	４６	４９	４９

月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
件数	５０	５２	５０	５０	５２	５３	５７７

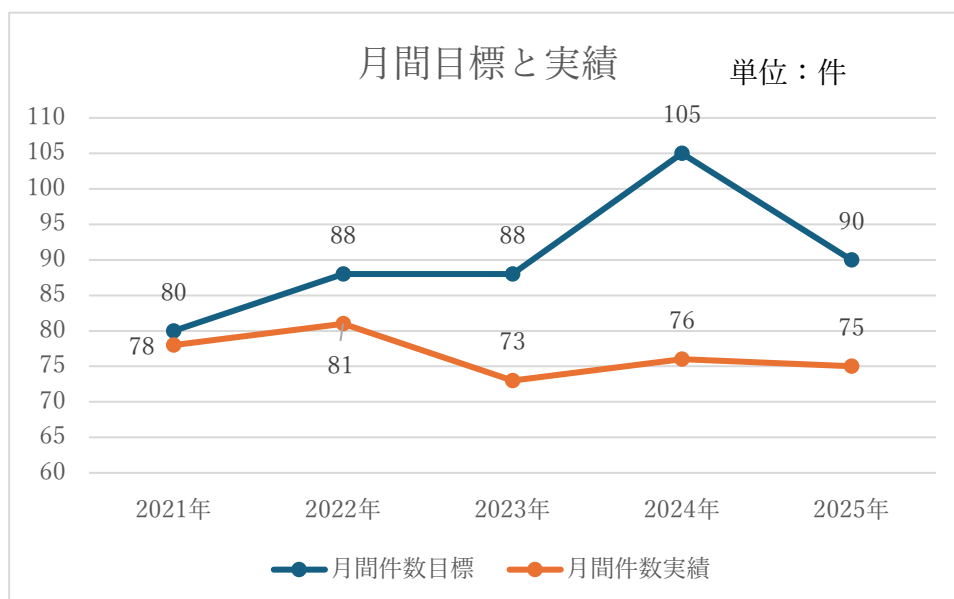


昨年度に比べて、年間１６７件プラスと大幅に増加した

４．年間目標と実績

単位：件

年度	２０２１年	２０２２年	２０２３年	２０２４年	２０２５年
目標	８０	８８	８８	１０５	９０
実績	７８	８１	７３	７６	７５



年間目標達成率

2025年度	年間目標	1,080件	
	実績	902件	※介護予防支援3人で1件とする
	月平均	75件	目標達成率 84%

5. 事業計画に対する結果と考察

2025年度の実績は、2024年度と比べて、月平均1人減少した。ほぼ2024年度と同じだったが、居宅介護支援（要介護1～5）の実績が年間72件減少した事に対して、介護予防支援（要支援1・2）は、年間167件と大幅に増加した。

新規件数の年間合計34件に対して、要支援1・2は、14件で全体の42%であり、その内70%が地域包括支援センターからの紹介であった。

この結果から、後期高齢者は増加しているが、要介護認定の判定が厳しく（軽く）出る傾向にあり、結果、要支援1・2の利用者が増加することになったと考えられる。

新規依頼の紹介元のうち地域包括支援センターの比率が高く、引き続き定期的に地域包括支援センターに訪問して情報交換する等、良好な関係づくりに努めていきたい。

また、依然として地域包括支援センターが、新規相談窓口としての役割を大いに担っている事が伺える。最近は楽笑かふえ等で地域住民から相談を受けて新規利用につながったケースが増えてきているので、今後も、地域住民に対して、当事業所が身近な相談窓口であるという認識を持って頂けるように、地域貢献活動を継続して、地域住民から気軽に相談して頂けるような関係づくりに努めていきたい。

居宅介護支援（要介護1～5）の実績が減少した原因は、新規件数が相対的に少ないこと、終了者が増加した事が原因である。

終了者全体の約40%が入院・死亡で一番多かった。また、当法人内の特別養護老人ホームや小規模多機能ホーム等へつないだ件数は終了者全体の約30%だった。今後も、居宅介護支援事業所としては、当法人の事業所へのつなぎ役としての役割を果たしていきたい。

また、今後の対策として、要支援1・2の利用者を増やす事で、将来的に要介護に繋がる事が考えられる。また、2025年度は医療機関からの新規依頼が無かったので、医療機関の地域連携室に直接出向いて、空き情報などを伝えて連携を図り、要介護者の新規利用者獲得に繋げていきたい。